

## 平成29年度「ビジネス情報管理」シラバス

校長		教頭		
----	--	----	--	--

教科	科目名	単位数	学年	学 科
商業	ビジネス情報管理	3単位	3年	情報処理科(必修)

教科書	ビジネス情報管理(実教出版)
-----	----------------

### 1. 学習の目標

- ①企業内の情報通信ネットワークを構築して円滑に運用する知識と技術を習得する。
- ②販売情報システムや財務情報システムを開発する知識と技術を習得する。
- ③ビジネスの諸活動において情報を管理し、共有することの意義や必要性について理解する。
- ④適切にセキュリティ管理を行い、業務の合理化を積極的に推進する能力と態度を身につける。

### 2. 学習方法

- ①教科書を活用して基礎的・基本的知識を習得する。
- ②理論とソフトウェアによる実践的な分析技法をバランスよく学習する。
- ③学習内容のまとめり毎に試験問題に取り組み、知識の定着を確認する。

### 3. 評価方法

- ①出席状況
- ②平素の学習・授業態度(興味・関心・意欲等)
- ③課題・ワークシート
- ④定期考査・小テスト

以上を総合的に評価する

学習計画

月	配当時間	単元名	学習のねらい	考査検定
4	9	1. ビジネスと情報システム (1) ビジネスと情報の管理  (2) 情報システムと業務の合理化	ビジネスの諸活動における情報システムの具体的な活用例を通して、業務を合理化するための情報システムの必要性について理解し、この科目を学ぶ目的やねらいを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業組織の分業形態と、部門間・業務間の情報共有の必要性を理解し、ナレッジマネジメントの必要性を認識する。</li> <li>・ 情報通信ネットワークを活用したビジネスに関する情報共有の形態と特徴について理解する。</li> <li>・ 経営戦略の立案に向けて、業務プロセスを改善するために、DFD や E-R 図などの分析手法及び、情報システム導入に際しての各種サービス（ASP, SaaS, ホスティングサービス・ハウジングサービス, クラウドコンピューティング）の概要を理解する。</li> <li>・ 情報システムが業務を合理化・効率化している具体的な事例を取り上げ、情報システムの形態（SFA, SCM, CRM, ERP）と、意志決定を支援するシステムについて理解する。</li> </ul>	
5	9	4. ビジネスと情報システムの課題と展望  (1) セキュリティの管理	情報ネットワークにひそむ脅威から、企業がもつ貴重な情報資産を守るため、セキュリティ管理の基礎的な知識と技術を習得することをねらいとしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ セキュリティ管理の必要性について、不正アクセスやコンピュータウイルスへの感染などがビジネスの諸活動に及ぼす影響を具体的に理解する。</li> <li>・ ユーザの管理, ファイアウォールの利用, 暗号化など, 情報を保護するための技法を習得する。</li> <li>・ コンピュータウイルスへの感染を予防するソフトウェアを導入し, 活用するための技法を習得させるとともに, 災害や外部からの侵入などから情報システムの関連設備を守る対策について理解する。</li> <li>・ 情報セキュリティの確保のために, 組織としての意思統一を文書化されたセキュリティポリシーの必要性を認識する。</li> </ul>	中間考査
6	12	(2) 情報システムの課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報システムの進展の背景で, 開発にたずさわる人材の育成など, 課題について検討させるとともに, ICT 社会の新しい進展について認識する。</li> </ul>	

		2. 情報通信ネットワークの構築と運用管理	情報通信ネットワークの仕組みと通信方法, ネットワーク機器の種類と機能などを取り扱い, 情報通信ネットワークを構築し, 円滑に運用管理するための基礎的な知識と技術を習得させることをねらいとしている。	期末 考查
7	10	(1) 情報通信ネットワークのしくみと通信方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークの構築に必要なネットワーク機器の種類と機能について理解させる。</li> <li>・LANやインターネットの仕組み, LANの接続形態の種類や特徴, 通信回線と伝送媒体の種類や特徴, アクセス制御の種類や特徴及び代表的な通信プロトコルの概要について理解させる。</li> </ul>	
		(2) ネットワーク機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークインタフェースの機能, 有線LAN, 無線LANの接続装置, VLAN機能によるネットワークの切り分けを理解させる。</li> <li>・インターネット接続におけるアドレス変換技術(NAT, NAPT)の種類と機能について理解させる。</li> </ul>	
9	12	(3) 情報通信ネットワークの設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークに対する要求を分析し, ネットワークの構成, 運用計画の策定など, 情報通信ネットワークを設計する基礎的な方法について理解させる。</li> <li>・ネットワークの導入に際しての設定と, セキュリティポリシーによる運用管理の目的を理解させる。</li> </ul>	全商 検定  中間 考查
10	12	(4) ハードウェアとソフトウェアの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークの構築に必要なネットワーク機器を導入するための技法, サーバの選定と設定を行うための技法を習得させる。</li> </ul>	
11	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータやプリンタなどの各種機器をLANに接続するための技法やアプリケーションソフトウェアを導入するための技法を習得させる。</li> </ul>	期末 考查
12	11	(5) 運用管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイル管理やユーザ管理を行うための管理ツールやセキュリティポリシーによる運用管理の技法を習得させる。</li> <li>・パフォーマンスの管理やバックアップの設定, システム障害や不正アクセスへの対策を講じるための技法を習得させる。</li> </ul>	
		(6) ビジネス向けデバイスの活用とクラウド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスで用いられるタブレットやWi-Fiなどの携帯情報端末, クラウドサービスの活用方法について理解させる。</li> </ul>	
1	11	(7) 情報通信ネットワークの構築と運用管理の実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LANを構築してインターネットに接続する課題及び情報通信ネットワークを適切に運用管理する課題を設定し, 実習を通して, ビジネスに関する情報を処理する情報通信ネットワークの構築と運用管理を行うための技法の定着を図る。</li> </ul>	学年末 考查
2	7			